

ベゴニアのお手入れ方法

『お手入れカレンダー』 お花を元気に育てていただくための参考として、見やすい場所に貼ってください。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育	休眠期			開花期						休眠期		
置き場所	日当たりの良い室内			直射日光の当たらない風通しの良い室内						日当たりの良い室内		
水やり	土の表面が乾いたら水やり ◎水のあげ過ぎには注意！◎花や葉に水はかけない！											
施肥	置肥(固形肥料)を月に1回程度											
作業						繁殖期・挿し木						

※この表は、関東地方を基準としているので、地域によって表とは時期が異なる場合があります。

置き場所/ 日当たり	レースのカーテン越しや北側の窓辺の環境が最適な条件です。 初夏から秋頃までは直射日光から守ってあげましょう。 風通しが良い場所や自然と外の空気に触れることができる玄関などもよく生育します。
水やり	鉢土の表面が乾いたら、水を与えます。水は、花や葉にかからないよう根元にあげてください。 底面給水の鉢の場合は下の部分にいつも水が入っている状態にしてください。
施肥	固形肥料(置肥)を月に1個土の上に置きましょう。底面給水の鉢の場合は市販の液肥を2,000倍程度に薄めて給水するとより花付きがよくなります。
作業	植え替えや切戻しの必要はありません。暑い季節に切戻しをすると激しい生育障害を起こすことがあります。繁殖は初夏の時期が最適です。つぼみが付いていない枝を切り、バーミキュライトと鹿沼土の混合の用土に挿すと簡単に繁殖できます。